

目 次

① 別紙様式 1-1	
令和元年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告(要約)	1
② 別紙様式 2-1	
令和元年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発の成果と課題	7
③ 報告書の本文	
① 研究開発の課題	12
② 研究開発の経緯	13
③ 研究開発の内容	14
1 教育課程について	
(1) 教育課程表	14
(2) 学校設定教科・科目と教育課程の特例等	14
(3) 「設置する学校設定科目」と「削減する教科・科目等」の内容との関係 ..	15
(4) 教育課程の基準を変更した理由	16
2 「高い志」を醸成する指導法の開発について	
(1) 役割の違う3種類のルーブリック(ビジョン、長期、短期)の活用 ..	16
(2) 生徒の主体的な活動の場の新設と運営方法の開発	17
(3) 「高い志」の源流に触れる取組	18
(4) SSH委員(生徒)によるSSH事業の企画・交渉・運営	18
(5) 科学系部活動の活性化	18
(6) 科学技術系コンテスト等への参加	22
3 「未来を切り拓く資質・能力」の育成法の開発について	
(A) 課題研究を軸にした主体的探究活動	
(1) 『AI課題研究Ⅰ』	23
(2) 『課題研究』、『AI課題研究Ⅱ』	24
(3) 『AI課題研究Ⅲ』	26
(4) 『SG思考基礎』『SG探究基礎』	27
(5) 『SS課題研究Ⅰ』	28
(6) 『SS課題研究Ⅱ』	29
(B) 課題研究をサポート、活用するためのCSプログラムの開発	
(1) 学校設定科目『CS学際科学』	30
(2) 学校設定科目『CS人間科学』	31
(3) 学校設定科目『CS実験科学』	34
(4) 野外実習	35
(C) 国際性の育成に関する取組	
(1) 学校設定科目『サイエンス・イングリッシュⅠ』	38
(2) 学校設定科目『サイエンス・イングリッシュⅡ』	40
(3) AI課題研究Ⅱ校内中間発表会(英語ポスター発表会)	41
(4) 海外科学研修	42
(5) 理数教科における英語による定期テストの出題	44

4	人材を「持続的に育成・輩出」する指導法の開発について	
	(1) 生徒自身の企画・運営・交渉による小中学生対象の理科教室開催	4 4
	(2) 地域の科学財団や小中学校との連携	4 5
	(3) SSH事業への卒業生の関わりで「志」を連鎖させ高める取組	4 5
	(4) 上・下級生の相互作用で「志」を連鎖させ高める取組	4 6
	(5) 大学等が主催する科学講座への参加、大学や研究機関等との連携	4 6
	(6) 高大連携の取組	4 7
	(7) 企業等との連携の取組	4 8
④	実施の効果とその評価	4 8
⑤	「SSH中間評価において指摘を受けた事項のこれまでの改善・対応状況」について	5 2
⑥	「校内におけるSSHの組織的推進体制」について	5 2
⑦	「成果の発信・普及」について	5 3
⑧	研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向・成果の普及	5 3
④	関係資料	
I	主な取組と評価の方法の観点	5 5
II	科学技術系コンテスト等の参加者数の推移	5 5
III	アンケート調査結果	5 6
IV	運営指導委員会等	5 7
V	課題研究テーマ一覧	5 9
VI	教育課程表	6 0